



2020.09

Free paper for
students, parents and
local people

Publisher: GOTSU CONSORTIUM

Edit: TEGONET-IWAMI

Design: D52 Co., Ltd

2

の 青
カ 春
ダ イ

学生とまちをつなぐ5つのプロジェクト

『アオハル52』は、島根県江津市にある県立学校3校と一緒に学校生活を楽しみ、学んでいく様子をお届けする情報誌です。今年度から江津高校、江津工業、江津清和養護の3校で“まちで学ぶ”を考えるチーム、“GO▶GOTSUコンソーシアム”が立ち上がり、それぞれの特色を活かしたプロジェクト

を行なっています。学校同士はもちろん、地域、企業と一緒にさまざまな「学び」「楽しみ」を作っていきたいと思っています。この情報誌では、そういった連携の様子をお届けしていきます。

“まちで学ぶ”を考えるチーム＝GO▶GOTSUコンソーシアム

GO▶GOTSU コンソーシアムはさまざまな人、団体、学校、地域とつながり、まちで学ぶ中で自分の未来、まちの未来を創造できる人材を育てます。

今月号はそういった人材を育てるための「5つのプロジェクト」を紹介します。



〈PJ1〉

－ 課題解決型学習 －

学校や地域が抱えている課題を自ら抽出し、解決していく学び



〈PJ2〉

－ アソビバ－

学生や地域の人の思いを実現させていく場。地域での拠点作り



〈PJ3〉

－ キャリア教育 －

まちの未来を実際に形作っている大人の姿をみて、自らの未来を想像する

〈PJ4〉

－ 情報発信 －

コンソーシアムの活動を発信し、市内外に江津で学ぶことの魅力を発信する



〈PJ5〉

－ 江津に住む －

地域に住みながら交流し、生きる力/地域を考える力を身につける



※PJ: Projectの略



各学校とまちをつなぐプロジェクト



【PJ3：キャリア教育】 わくわくエンジン® プログラム

入学して3カ月たった1年生が自分の中にある「わくわく」を、地域や学生のわくわくナビゲーターのみなさんに関わっていただきながら探しました。将来の職業を考え始めるきっかけとなる時間。生徒からは「自分に合う仕事は少ないと思ったけれど、意外とたくさんあってびっくりした」などの感想があがりました。



【PJ3：キャリア教育】 地域で活躍する 卒業生のお話

体育教員の経験から接骨院を開業した永井康子さん。警察官から家業の旅館を継ぎ若女将になった佐々木文さん。11歳で神楽面職人を目指し、夢を叶えた小林泰三さん。3名の卒業生が1年生を対象に「学生時代にやっておきたかったこと」「職を選んだ理由」など実体験を交えたお話をされました。



【PJ5：江津に住む】 地域みらい留学 (水球部1年坂本くん)

関西出身で小・中学校はラグビーしていたが、水球をするために江津高校へ。みんな本当に優しくしてくれるので江津が大好き！入学したことに後悔はない。同じく地域みらい留学で入学した水球部員と力を合わせて寮生活をしている。目標を高く持ち、江津高校の水球を盛り上げていきたい。入学して数か月ですが、根性もつきました!!



【PJ1：課題解決型学習】 ロジカルシンキング 講座

進学や就職を控えた3年生の「考え方・伝え方」の授業。伝えるときには「タテ」と「ヨコ」を意識することを学び、思考力や表現力を鍛えました。生徒からは「面接・小論文・自己PR等にかいたい」などの感想がありました。



江津工業



【PJ1：課題解決型学習】 課題研究

3年生の課題研究ではこれまでの学びを活かしてまちの課題を解決していきます。社寺建築チームでは氏子や檀家の減少により社寺建築の維持、継承が難しくなっていることを知りました。これを受け、実際に劣化、腐食している箇所を見て修復方法を研究し、修復をしていくことになりました。



【PJ4：情報発信】 ホームページ

6月からホームページのデザインを刷新し、より見やすくなりました。特に今年はほぼ毎日情報を更新し、本校の取り組みを高い鮮度で濃密にお伝えできるようにしています。ぜひ一度アクセスしてみてください！



【PJ5：江津に住む】 災害ボランティア

江津のアイデンティティでもある江の川。7月14日の豪雨により氾濫し、本校在校生の家庭でも床上浸水の被害がありました。そこで、地域との関わり強く持つ課題研究班5名が被災宅に伺い、泥の撤去や消毒作業を行いました。かなり蒸し暑い中でしたが、少しでも力になればと一所懸命に作業を行いました。



【PJ2：アソビバ】 地域のまつりでの出店

ごうつ秋まつりなどのイベントで、本校の作品を展示して遊べるようにしたり、ゲームに使う道具を作ったりしています。訪れる方々にとって楽しんでいただくことはもちろん、生徒にとっても販売や説明を通してものづくりの楽しさや大切さを学習する貴重な機会となっています。



江津清和養護



【PJ3：キャリア教育】 ふれあい農園交流会

渡津地区のゆかりのある作物であるサツマイモの栽培を通して、地域の方々と交流を行っています。苗植えや収穫をはじめ、地域の方を各学級にお招きして、一緒に活動をして関わりを深めています。



【PJ4：情報発信】 学園祭

江津市民の皆さんには、恒例の行事として親しまれているイベントで、西部医療センターと共催しています。江津清和養護学校は、ステージ発表や児童生徒会模擬店、PTAバザー、校内児童生徒の作品展示、メイン展示などを企画しています。



【PJ4：情報発信】 小さな巨匠展

市内のショッピングモールで開催している特別支援学級との合同作品展です。今年で27年目となる長い歴史をもった作品展です。子ども達の作品を通じて、特別支援教育への理解啓発を図ることを目的としています。



【PJ1：課題解決型学習】 福島ひまわり 里親プロジェクト

東日本大震災後から全国で行われてきた被災地支援活動に児童生徒会で参加して、全校で取り組んでいます。3年前から近隣の渡津小学校と合同で、5月のセレモニー(種植え)と9月の収穫祭(種の仕分け、発表、作品作り)を行っています。収穫した種は福島に送っています。

